

## 世界的コロナ災害におけるディサービス地球の子管理者の所信表明

みなさま、コロナ災害と言ってもいいほどの世界的な出来事に、  
私たちは往く先を見失いそうになっています。  
いま、  
コロナに苦しむ全ての方々、  
防護服をつけ、日夜医療の最前線で救命活動にあたるの方々、  
その裏方で働く介護、保育にかかわるの方々、  
また日々に帰国者相談センターで対応したり、  
公のシステムの真っ只中にいて働いてくださる行政機関のみなさまに、  
心から感謝の気持ちと、共に立ち向かうファイト！の気持ちをおくります。

さて、地球の子は2月25日からコロナ対策に力を注いでまいりました。  
しかし、コロナが知らない場所から押し寄せて来る気配を察し、  
コロナを水際で遮断しなくては地球の子のスタッフ、利用者を守れなくなると  
判断しました。  
本日4月24日（金）よりGW明け5月6日（水）までお休みにすることにした  
いたします。

人は負のものが押し寄せてくるとき、  
必ずバランスを取ろうとします。  
負のものが大きければ大きいほど  
覆そうとする闘志が湧き上がるのを感じます。  
コロナが連れてきたあらゆる理不尽に対して、  
最高の結果を導き出すチャンスだと感じます。

コロナの崖っぷちからよみがえるようなエネルギーをみんなと創りたい。  
それが何かは分からないけど、  
これが私の本質なのだと、迷いが無いことに喜びを感じます。  
コロナにも感わされない自分だったことが嬉しいです。  
私が選んで生きてきた道のりは、

理不尽から不屈さを生み出す自分を育ててくれた。  
闘志とは闘うと書きますが、

ファイト！  
ファイトに尽きると感じます。  
そしてエール！  
エールが必要です。

苦難や苦境な道をガッツリ笑顔で邁進してゆく強さ、励まし合う愛、  
共に行く未来に喜びがあるなら、  
今という場所にも喜びで溢れているはず。(この思考は今ココ未来の北澤先生の  
臨床美術理論から、未来から考えて今ココが最高だという逆説的だが事実、今  
苦境にいる自分を助ける働きを導き出せると証明している)  
私はそれを自分の生きてきた時間と新たに自分に課した仕事と新たに出会った  
臨床美術によって迷わない、嘆かない、むしろ、歩く道の豊かさを見渡せるよ  
うな思考転換を出来るようになっていたことを実感しています。  
そして、今の喜びと率直にファイトな闘志を見つめています。  
このような機会を得たことに感謝し、この機会を最高のものにする努力を惜し  
まないことを誓います。

コロナ対策を学び実践した後に私たちができることはまだまだ沢山あります。  
しっかりした学びの土台の上に立ち、  
ファイトとエールで新天地を切り開いていこうという喜びの中にあります。  
連休明けから、Zoomでリモートリハ、リモート勉強会にも挑戦していきま  
す。リモート臨床美術もしたいですね。  
新しい私たちに生まれ変わってゆくチャンスを育んでいきます。  
地球の子の新しい門出が嬉しいです。  
さあ、ガッツリ頑張りましょう！  
◇\*(´▽`\*)◇

令和2年4月24日  
デイサービス地球の子  
管理者 中川 美佐子